平成31年度 都立学校・学校経営シート

				<u> </u>) IV	1 1		•					
校		都立新宿山吻	て高等学校 通信	制課程	教 育 i 特	果程の 徴	単位制。	無学年制、2	学期制、古典	B・数学Ⅱ・コミュ	英Ⅲ等進学	科目開詞	講
章	1	自学自習を最後の最後までサポート そして、将来の夢を実現			進寒路	績	四年制大 学	31% 短 5	事 2% 専 学	門 11% 就 !	職 16% そ	その他	40%
					指導特	徴		G. GMARCHS	名、日東駒専 20%、未定が1				
	電話 02.52			201 0771 7		切工私	生徒会(ボランティア活動)	、日本舞踊部(坎	也域で披露、山吹町			
基	РЛ	新宿区山吹町81番地 黄			上の音		球・サッカ	ー・バスケットボー	ル(定通合同)]賞)、演劇部(全日	制中央大会抗	住馬)、戦:	工人生了
本	P	(1) 東京メトロ東西線 早稲田駅または神楽坂駅より徒歩各10分 クセス(2) 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅より徒歩10分			学校表		•		9%、レポート添 450名。 2年相当	削に満足92%) 当60名)、8月実施記	+10名		
本		(3) 都営地下鉄大江戸線 牛込柳町駅より徒歩15分			門学 人	員	平成31年	4月実施(1学年	: 応募83名・合格	, 62名、2学年以上:J	芯募110名·合		
情	学	普通科			選 抜 の			•	: 応募19名・合格 3過のため転入学	i9名、2学年以上 : 応 享集なし)	募28名・合格	7名)	
	在生	在 籍 普通科 男子176名 女子208名 計384名			退主な学	校行事	定時制•	通信制合同 文	化祭、健康教室	、セイフティ教室 ※	参加は自由		
報	そ	の他自校定通併修	校 服 自由服		ホ -	- Ÿ	http:/	/www.vam	abuki-hs.m	etro.tokyo.jp,	/		
		他校定時制併修受入 ① 学習指導・生徒支援を最大限(、卒業し進路を	 へ - を実現させる	- シ ことをめざっ		•				解決に必要	要な思
目	指	す 学 校 考力・判断力・表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。 ③ 生徒理解に力を尽くし、個々の状況に応じて基本的生活習慣を身に付けさせ、地域や社会との関わりをとおして異年齢交流にも取り組み、社会人としての常識がある温かく思いやりのある人材を育成する。 ④ 公立通信制課程設置の背景と趣旨に鑑み、学校の課題を早期に発見し、解決策を見出し、着実に実践してい										齢交	
			育成する。 ④	公立通信	制課程設:	重の背景				見出し、看美	ミに実践し	ってい	
今年度の重点目標													
								今年度の明	双組と自己評価	1			
	目	学年度の里点目標 授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2[一 今年度の印	双組と目 己評化	<u> </u>			
		授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ	回行い、見学報告書にまとめ共 「オ撮影し、各自で授業研究を					今年度の印	双租と目 己評化				
4	摽	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ 行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、「	回行い、見学報告書にまとめ共 ・オ撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観						X組と目 己評((
4		授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し し授業改善に資する。相互授業見学データ	回行い、見学報告書にまとめ共 ・オ撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観						X組と目 己評((
; (標 ① —	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。	回行い、見学報告書にまとめ共 デオ撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す					今年度の月	X租と目 己評((
; (標 ① ——目	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2[有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、「し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率に	回行い、見学報告書にまとめ共 「オ撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率					今年度の月	X組と目 己評(
1 	標 ① 目 標	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。	回行い、見学報告書にまとめ共 「才撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大					今年度の月	X組と目 ご評(
1 	標 ① ——目	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合す(7)センター試験出願者数60名以上	回行い、見学報告書にまとめ共 「才撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大					今年度の月	X租と目 己評(
	標 ① 目 標	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2[有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率に20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合さて7)センター試験出願者数60名以上基本的生活習慣や社会性の確立	回行い、見学報告書にまとめ共 「才撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 を援センター等と連携する。					今年度の月	V祖と目 己評(
	標 1 目標 2 目	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2[有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合な(7)センター試験出願者数60名以上基本的生活習慣や社会性の確立(1)職員室やエントランスで、生徒に声をかり	回行い、見学報告書にまとめ共 デオ撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 支援センター等と連携する。 け、生徒の意欲を向上させる。					今年度の月	(祖と目己評値				
	標 ①	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2月有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、日授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合さ(7)センター試験出願者数60名以上基本的生活習慣や社会性の確立(1)職員室やエントランスで、生徒に声をかり(2)SNSでの誹謗中傷を許さない心を育むナーに取組む。(4)いじめ防止委員会が知	回行い、見学報告書にまとめ共 対撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 支援センター等と連携する。 は、生徒の意欲を向上させる。 (3)生徒会が、SNS学校マ					今年度の月	X租と目 己評(
	標 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ 行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、「 し授業改善に資する。相互授業見学データ る。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、 20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況 学受験を支援する。(6)新宿若者総合式 (7)センター試験出願者数60名以上 基本的生活習慣や社会性の確立 (1)職員室やエントランスで、生徒に声をかい (2)SNSでの誹謗中傷を許さない心を育む	回行い、見学報告書にまとめ共 対撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 支援センター等と連携する。 は、生徒の意欲を向上させる。 (3)生徒会が、SNS学校マ								100 tr tie 10	20年中	
	標 1 目標 2 目標 3 数	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ 行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、「 し授業改善に資する。相互授業見学データ る。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、 20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況 学受験を支援する。(6)新宿若者総合式 (7)センター試験出願者数60名以上 基本的生活習慣や社会性の確立 (1)職員室やエントランスで、生徒に声をかい (2)SNSでの誹謗中傷を許さない心を育む ナーに取組む。(4)いじめ防止委員会が何 要を生徒に周知する。	回行い、見学報告書にまとめ共 対撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 支援センター等と連携する。 は、生徒の意欲を向上させる。 (3)生徒会が、SNS学校マ				 	* 今年度の 第	30年度	今年度	32年度 3		34年度目標
1	標 1 目 標 2 目 標 3 数値	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2년 有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合さ(7)センター試験出願者数60名以上基本的生活習慣や社会性の確立(1)職員室やエントランスで、生徒に声をか(2)SNSでの誹謗中傷を許さない心を育むナーに取組む。(4)いじめ防止委員会が母要を生徒に周知する。	回行い、見学報告書にまとめ共 計撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 を援センター等と連携する。 は、生徒の意欲を向上させる。 は、生徒の意欲を向上させる。 ら。 (3)生徒会が、SNS学校マ 下3回アンケートを行い対応の概 今年度の数値目標の内容 (%)			目標 100%	<u>実績</u> 100%	29年度 目標 実績 100% 100%	30年度 目標 実 100% 100	今年度 请 目標 実績 % 100%	目標 100% :	目標 100% 1	目標 100%
	標 1 目標 2 目標 3 数	授業力の向上 (1)教員相互の授業見学を全教員で年2[有する。(2)4~5月に全教員の授業をビデ行う。(3)本校で行う若手研、教師道場、し授業改善に資する。相互授業見学データる。 進路決定者と卒業生の増加 (1)卒業生125名以上 (2)大学進学率、20%以下 (4)高認・既卒者の進路状況学受験を支援する。(6)新宿若者総合な(7)センター試験出願者数60名以上基本的生活習慣や社会性の確立(1)職員室やエントランスで、生徒に声をかり(2)SNSでの誹謗中傷を許さない心を育むナーに取組む。(4)いじめ防止委員会が何要を生徒に周知する。	回行い、見学報告書にまとめ共 計撮影し、各自で授業研究を 開発委員等の研究授業を参観 タベースも活用し授業公開す 30%以上 (3)進路未定率 を把握する。 (5)高認での大 を援センター等と連携する。 は、生徒の意欲を向上させる。 は、生徒の意欲を向上させる。 ら。 (3)生徒会が、SNS学校マ 下3回アンケートを行い対応の概 今年度の数値目標の内容 (%)			目標 100% 30%	<u>実績</u> 100% 27%	29年度 目標 実績 100% 100% 30% 28%	30年度 目標 実 100% 100	今年度 積 目標 実績 100% % 30%	目標 100% :	目標 100% 1 30% 1	目標 100% 30%